

平成25年度 第13回
応用動物科学セミナー

統合失調症の病態
における
成体神経幹細胞の役割

大内 靖夫 博士

中部大学 生命医科学科
遺伝・実験動物学教室／実験動物教育研究センター

● 3月6日(木) 16:00～
7号館104/105号室

● 本セミナーは動物科学の
フロンティアの講義として
はカウントしません。
したがって、レポートの
提出も不要です。

● 問い合わせ先：
獣医学専攻 獣医実験動物学研究室
角田 茂 准教授
☎ 03-5841-5037
✉ akakuta@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp



Ouchi Y, et al., (2013) Reduced adult hippocampal neurogenesis and working memory deficits in the Dgcr8-deficient mouse model of 22q11.2 deletion-associated schizophrenia can be rescued by IGF2. *J Neurosci.* 33:9408-19.